

第1回(令和7年11月開催) 番組審議会議事録

令和7年12月3日

玉島テレビ放送株式会社

1. 開催年月日 令和7年11月22日(土)19時~21時

令和7年11月27日(木)19時~

2. 開催場所 玉島テレビ放送株式会社役員室

3. 委員の参加

委員総数:8名 参加:8名

出席委員の氏名

委員長 瀧澤 厚志

委 員 赤澤 美佐子

委 員 家城 七虹

委 員 香西 哲郎

委 員 林 洋代

委 員 松尾 健一

委 員 柳本 大地

委 員 山下 沙也香

玉島テレビ放送株式会社側の出席者

専務取締役 猪木 直樹

制作部部長 二宮 丈晴

制作部課長 佐藤 慎一

技術部課長 滝澤 伯龍

制作部 小山 紗明

制作部 板野 秀平

4. 委嘱状交付及び委員長選任

委員8名の方に委嘱状を交付し、委員8名の中から瀧澤厚志氏を委員長に選任した。

5. 議 題

【玉島テレビ放送株式会社に対してのご意見・印象について】

＜議題の意図＞

当社は理念である「たまテレはつなぎます。みんなの笑顔を地域のちからに。」を社内で共有し、日々の番組制作に取り組んでいます。

番組審議委員会では、委員の皆さまからの率直なご意見を番組づくりやスタッフへのフィードバックに生かしていきたいと考えております。

頂くご意見は当社にとって非常に重要であり、活発な意見交換ができれば幸いです。

＜委員意見＞【玉島テレビ放送株式会社に対してのご意見・印象について】

○テレビ視聴に関するご意見

- ・ 中学生や高校生はスマホ世代で、テレビ離れが進んでいる
- ・ 若い世代を引き付けるコンテンツが必要
- ・ 日常の素敵な場面を捉えた番組作りが重要
- ・ そもそもテレビを見る機会が減少している
- ・ テレビでは無く、スマホやゲームが主要な情報源になっている
- ・ たまテレに出ていたよ、と言われると嬉しい気持ちになる
- ・ 取材スタッフと地域住民の距離が近く、情報提供がしやすい
- ・ イベント当日の取材が夕方には放送され、迅速性がある
- ・ 様々な番組があり、飽きない構成になっている
- ・ 地域の奥深い情報まで丁寧に取材、発信されている

○世代間の視聴習慣の違い

- ・ 高齢者はテレビをよく見ている
- ・ 若い世代は情報をインターネットで得る傾向
- ・ 家族構成によって視聴習慣が異なっている

○コンテンツ改善の提案

- ・ 普段の生活の中の素敵な場面を取材しては？
- ・ 子供たちの日常や、活動する姿を映す
- ・ 地域の人々の様々な活躍を伝える
- ・ 歴史や文化に関する番組の制作
- ・ 地域の行事や小さな出来事の紹介

- ・防災情報の提供
- ・若い世代が興味をもって参加出来るような番組作り
- ・町内イベントの積極的な取材・放送

○技術的な対応

- ・アプリ（たまテレ+）の活用
- ・スマホでのコンテンツ配信
- ・インターネットサービスとの連携
- ・YouTubeでの見逃し配信
- ・SNSを活用した情報発信

○加入者獲得の課題

- ・若い世代の加入率が低い
- ・サービスの魅力向上が必要
- ・インターネット回線とのコラボ商品など新しい戦略
- ・新規に転居して来られる方へのアプローチ
- ・他のメディアサービスとの競争
- ・アプリの若者への認知度向上
- ・Instagramの更新再開が若年層へのアプローチで重要

○地域貢献

- ・地域の歴史や文化の発信
(「a mission！」などは、地元出身者が出ていて良い)
- ・地元の人々の活動紹介
- ・地域コミュニティとの密接な関係づくり
- ・保育園や学校の活動紹介
- ・地域の人々の日常を伝える
- ・防災カメラチャンネルは意義がある

○その他の提案

- ・多角的な視点からのニュース報道
- ・地域密着型の番組制作
- ・世代を超えて楽しめるコンテンツ
- ・地域の魅力を再発見できる番組
- ・たまテレ非加入者、エリア外の方でも視聴できる工夫

6. 次回の議題

【中学校区別の船穂テレビ局・黒崎テレビ局・玉島西テレビ局・玉島東
テレビ局・玉島北テレビ局の番組審議】

放送予定：令和8年1月12日～16日

7. 次回の開催予定

日時：令和8年2月18日(水)19時より

場所：玉島テレビ放送役員室

以上